

求められるもの

ゆらくの里 支援課課長 中山 寛基

ゆらくの里に入職して十五年目に入りました。その間には変化も色々ありました。年齢は二十代から四十代に入り、業務においては、ご利用者の方々への支援に携わらせて頂き、何も分からなかった新人時代から、経験を経て中堅としてベテランとして従事してきました。現在では現場支援から退き、事業のマネジメントを行う管理職となりました。

一方、我が法人も法律や制度の大きな変容に合わせて様変わりをしてきました。当初は入所施設「ゆらくの里」のみでしたが、通所型事業の「今人」や「我楽」、ケアホーム「のあ」、相談支援事業「しえくく」やヘルパー派遣事業「そくる1・2・3」といった事業が増えました。また成人だけでなく児童のご利用者も受け入れる「コテージ・コテージJ」や「はぐらいぶ」など、多種多様なサービスを提供できる法人へと変化を遂げました。ゆらくの里の中でも支援内容の改善を行い、昔とは色々と違ったサービスを提供するようになりました。

では、これからの入所施設では一体何が求められてくるのでしょうか？健康を維持し、怪我なく安全に暮らして頂くことは当然重要ですが、それで良かった時代は終わりを告げました。ゆらくには二十歳になられたばかりの方から八十歳近いご高齢の方まで様々な年齢層の方がおられますし、知的障害だけでなく、身体障害や精神障害等を重複でお持ちの方も多数おられます。集団での支援ではなく、個々の障害特性やニーズに合わせた支援を行う事が基本となってきます。例えば、仲間と一緒に過ごす事は人として必要なことですが、自閉症の方にとっては集団での生活や活動が苦痛になってしまふケースが多々見られます。お一人もしくは少人数で過ごしてもらえる時間・場所の提供など環境調整をしていく支援が必要となってきます。

また、「解決すべき課題は、当事者たる個人にある」という従来の医学モデルの考え方だけではなく、「解決すべき課題は、当事者ではなく社会にある」という社会（生活）モデルの考え方を持つて支援を構築していく事も大切です。車椅子を使用しておられる方に対して、階段を登ることができるようになりハビリを行い、歩行を促す支援というのが医学モデルであり、エレベーターを作ることや車椅子を抱えて階段を上がる支援を整えていくのが社会モデルといえます。

加えて、ご利用者は施設での集団生活を余儀なくされておられます。赤の他人同士が、やむを得ず家族として生活して頂いていることを我々支援職員は忘れてはいけません。赤の他人同士が、やむを得ず家族として生活して頂いていることを我々支援職員は忘れてはいけません。

これらの事をふまえて、私たちは支援に対する意識を変えなければいけません。また、ご利用者やご家族の「思い」「願い」「望み」を実現できるようにご本人の人生を支えることを使命と考えるべきでしょう。

昨年十月には障害者虐待防止法が、この四月には障害者総合支援法が施行され、ご利用者を取り巻く環境は変化し続けています。その中で、変化への対応を行いつつ日々の支援の積み重ねを大事にし、求めに対する答えを探求していきたいと思います。

ナチュラルカフェ・モンステラ OPEN!



障がい福祉の理解と啓発を進めていくうえで、地域に向けての発信力を高め、今まで以上に地域に根ざした活動を実施する目的で、以和貴会のアンテナショップとして『ナチュラルカフェ・モンステラ』をオープンすることになり、4月30日のグランドオープンの前に、4月18日、香芝市の吉田弘明市長をはじめ多くの来賓・関係者の方々にご臨席いただいて、盛大にオープン記念式典を開催いたしました。



香芝市の吉田市長
モンステラの花言葉『うれしい便り』
を引用してご挨拶いただきました。

当日は幸いにも好天に恵まれ、最初の一步を踏み出すのにこれほどふさわしい日はないと思われるほどでした。

来賓の方々にご挨拶をいただき、施工にあたってご尽力いただいた方々への感謝状贈呈、利用者・職員の紹介のあと、カフェ開店のテープカットを行いました。

式典後は皆様にボノボビルでの活動の様子を見学していただき、カフェにて自慢のパンを味わっていただきました。



テープカット
ここから新しい一歩が始まります。



おいしさには自信があります！
どうぞお召し上がりください。

この『ナチュラルカフェ・モンステラ』は、障がいがある人もない人も自然に溶けあうことのできる、地域の憩いの場として歩んでいきたい、という思いが形になったものです。また、地域の障がい福祉の啓発を積極的に進め、障がいのある方々の『働きたい!』という思いを大切にしながら、以和貴会の理念でもある『人として当たり前の暮らし』と『その人らしい人生』を送ってもらえるような支援を目指して努力する場でもありたい、と考えています。



美味しいお菓子も販売しています。

お店では、奈良県産中心の有機野菜・低農薬野菜を使用したこだわりサンドイッチと、ホシノ天然酵母を使用した手作りパン、有機コーヒーといった安心・安全なものを地域の方々に提供いたします。お客様がいつ来ても喜んでくださるお店にしていきたい、その中で障がいのある方々が生き生きと働いている姿を見ていただきたいと思っています。そうすることで、障がいのある方たちの『働きたい!』を多くの方々が応援してくださるようにしたいと考えています。



皆様の憩いの場所になれるよう、精いっぱい頑張ります!

平成25年4月から、障がい者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための障害者総合支援法が障害者自立支援法に代わって施行されています。地域社会における共生の実現に向けての新たな始まりの年で、以和貴会においても新しい変革

の年を迎えます。日々支えてくださっている皆様方に感謝の意を表して、お店にて最高の笑顔をご用意してお待ちしています。ぜひ『ナチュラルカフェ・モンステラ』に足をお運びください。心から歓迎いたします。

natural cafe
Monstera

4月30日(火)
グランドオープン!

モーニング (8:00~11:00)

ドリンク、食パン、サラダ、ゆでたまご 価格 500円

ランチ (11:00~14:00)

サンドイッチ2種、スープ、プチデザート、ドリンク 価格 900円

ドリンク 有機コーヒー 350円、ソフトドリンク 300円、紅茶 350円

物販商品 パン、焼き菓子、生菓子、紙漉き商品、陶芸、全国の事業所商品

香芝市磯壁1丁目1057-3 (ポノビル1F) TEL 0745-51-7107

営業日 火曜日～土曜日 (8:00~18:00) 休日 月曜日・日曜日・祝日



法人研究発表会

2月23日



4月からそれぞれにテーマを決めて行ってきた研究の発表会を、ご利用者様のご家族にもご参観いただいてポノビルにて開催しました。全8グループの発表テーマは以下の通りです（発表順）。

ゆらく日中 今人・我楽 はぐらいぶ	SSTの技法を取り入れたストレンクス支援とエンパワメント 最近増加しつつある発達障がい者への支援 成人期に向けての支援
ゆらく生活3G 健康サポート	やさしい施設作り（穏やかな空間～より良い日常生活を目指して～） 口腔ケア導入に向けて
ゆらくの里1G コテージ	知的障がい者の高齢化を考える チームワークの向上のために～エゴグラムを用いて～
ゆらく生活2G	ご利用者様の求める生活とは？（利用者目線になって考える）

この中で最優秀賞に選ばれた健康サポートチームの研究への取り組みをお知らせします。

～健康サポートチーム

『口腔ケア導入に向けて』～

平成22年度の「罹患率と生活習慣・食習慣との関係性」に関する研究で『抗てんかん薬、向精神薬を内服投与されている方の健康サポートには口腔ケアを欠かすことができない』ということがわかりました。また平成23年度の『ソフト食と口腔ケア』の研究でも、『形のある食事を食べていただくことが健康を保つ一つの要因』であり、いつまでもおいしく食べていただくためにも口腔ケアが大切だという結論に達しました。そこで、私たち健康サポートチームは、今年度は口腔ケアに取り組むことに決めました。

下村歯科へ協力を依頼し、口腔内の状態・嚥下機能・不明熱の発症などを考慮したうえで、11名の方を対象として平成24年7月19日から口腔ケアを実施しました。利用者様へのケアの実施に当たって、まず私たちスタッフが歯科衛生士による講義と実習を受けました。そこで、不明熱の発生率は口腔内の細菌を減少させることで低減させることが可能であり、誤嚥しても、口腔内が清潔で菌の数が少なければ肺炎になるリスクが低くなるということを学びました。また、服薬の副作用の歯肉炎は毎日のブラッシングで防ぐことができ、残存歯を維持させることも可能となるので、形あるお料理をご自分の歯でいつまでも楽しむことにつながるということがわかりました。

口腔ケア指数表を用いて、歯科医師に実施前後のねばつき、口臭、歯石、食物残渣、炎症などの口腔の状態を比較して評価をしてもらったところ、横ばいの方もおられました。目に見えてよくなった方もおられました。

口腔ケアとは？

- ◎ 歯や口の中の清掃全般
- ◎ 食べ物の摂り方
偏食せずバランスよく食べる
- ◎ 誤嚥を防止する食事の形状の工夫
形があり、まとまった状態の食事形態
（普通食・ソフト食）
- ◎ 機能訓練
ごっくん体操や口腔内のマッサージ
- ◎ 歯科治療

口腔ケアが必要なのはどんな人？

- ◎ ご自分できちんとケアできない人
- ◎ 歯科治療に恐怖を持ち治療できない人
- ◎ 誤嚥を起こしやすい人
(肺炎になるリスクが高くなる)
- ◎ 薬の副作用のある人
 - 歯肉の腫脹 (抗てんかん薬・降圧薬)
 - 口腔の乾燥 (向精神薬・抗うつ薬・睡眠導入剤)
 - 抜歯後出血 (抗凝固剤・血栓溶解剤)



時に口腔乾燥を伴う

抗てんかん薬服用者の
歯・歯肉

歯頸部う蝕

全顎にわたり
増殖性歯肉炎を認める

実施率が高いほど口腔の状態が良くなる人がほとんどです。それ以外に、ご本人の精神面での安定につながる事がわかりました。中には、それまで歯磨きを面倒に感じておられ、していないのにしたとおっしゃることさえあったのに、今は自ら要求されることもあるほど口腔ケアの時間を楽しまれた方もいらっしゃいます。利用者様は歯磨きが嫌いではありません。環境を整え手法を変えるだけで、口腔ケアの時間を楽しまれます。口腔ケアメンバーではありませんが、実施をずっと見ておられた利用者様がおられました。いつからか、その方も時間になると自分から歯磨きを希望されるようになり、口腔ケアの時間をとても楽しんでおられました。

今回の調査的な口腔ケアの結果から、今後の本格導入に向けての課題もいくつか見えてきました。まず、実施率に関しては、日課への組み込みが必要だということがわかりました。また、実施率を上げてもしっかり実行しなければ効果は薄いということ、実施出来ない期間があるとお薬の副作用のある方ならすぐ元に戻るということもわかりました。そのためにも正しい口腔ケア法を伝達する機会が再度必要と思われまます。そして、全スタッフ共通認識の上で行うことが出来るなら、特別に口腔ケアの時間を設けなくても毎日3回ある歯磨きの時間の充実で可能なのではと期待できます。1時間あれば、1人で10人のケアが可能です。しかし、歯垢が歯石にまでなるとブラッシングだけで除去することは難しくなります。磨き残しやすい所や食物残渣の溜まりやすい所はそれぞれ違います。その認識の共有も必要かと思えます。

座って落ち着いた状態ですると立ったままでするとでは、利用者様の耐久時間に差がありました。座って落ち着いた環境では、最後までケアさせて頂くことが可能でした。正しく実施すればただけの結果は必ず得ることができるので、継続が何より大切です。また、実施前には思いもしていませんでしたが、口腔ケアの時間は、利用者様とコミュニケーションを深める貴重な時間となっていました。このような効果を実感することができたことも、大変有意義であったと感じています。



職員による実演

- 口腔ケアは座った状態で行う
 - 唾液の誤嚥を防ぐため
- ブラッシングは軽く小刻みに
 - 150～200g 圧が理想
 - 動かす幅は1～2mm程度

看護師 中山 智子

今人・我楽 入退所式

4月13日

今人・我楽全体の人数が増えたので、今年の入退社式は初めてポノビル4Fホールにて開催しました。早朝の地震の影響で3名の方が開始時間に間に合わないというハプニングもありましたが、式典自体はスムーズに行われました。遅れられた方も、スタッフが駅まで迎えに行き、何とか式典終了前に到着することができました。



式典後には懇親会を開きました。パンやドリンク、デザートなどを前にして、皆さん和気あいあいとした雰囲気でも過ごしておられました。

バーベキュー大会

4月14日

気持ち良い風の吹く晴天の中、ゆらくの里家族会主催バーベキュー大会が開催されました。

ご家族の方が利用者様のため、そしてスタッフのために、と美味しい肉や野菜、海産物などを網で焼いてくださいます。普段なかなか味わうことのできない豪華な食事に、利用者様たちだけでなく、スタッフも満面の笑顔！何度もおかわりして、満足いくまで美味しいお肉を堪能しました。ご家族の皆様、本当にありがとうございました。



まほろばキッチンへの出品

奈良県の授産商品販売等共同推進事業の取り組みの1つとして、4月2日にオープンしたまほろばキッチンに、奈良県南部を中心とした事業所に対してJA様が販売ブースを提供してくださいました。以和貴会からは、フェリーチェの『ならすく』とモンステラの『米粉ポルポローネ』を販売しています。



14日には有名シェフのレストランもオープンし、さらに多くの方が訪れ大盛況を呈しています。まほろばキッチンへおいでの際は、以和貴会製品のブースへもぜひお立ち寄りくださいますようお願いいたします。

新しい仲間が加わりました



たけの 美千代

所属 ゆらくの里
入所支援事業担当

ゆらくの里に勤務するようになり、1か月以上過ぎました。利用者様の明るい笑顔に励まされて毎日楽しく仕事をしています。利用者様のことを把握し、一人一人に合った支援活動をしていきたいです。（3月1日入社）



あき た ひろ

所属 ゆらくの里
入所支援事業担当

ゆらくの里に勤務し始めてから1か月余りが経ちました。毎日利用者様の笑顔を見ると元気が出ます。それぞれの利用者様のことを思い支援していきたいと思っています。よろしくお願いします。（3月1日入社）



いわ た せいこ

所属 ゆらくの里
生活介護事業担当
アシスタント

ゆらくの一員として、自分の置かれた立場に立って、私らしく精一杯働きたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。（2月18日入社）



やま ばやし とみか

所属 ゆらくの里
生活介護事業担当
アシスタント

以前ゆらくの里で働いていたことがあり、利用者の皆様に久しぶりにお会いして大変懐かしく感じています。皆様と日々楽しく過ごしていきたいです。（2月12日入社）



にし ばた まみ

所属 ゆらくの里
生活介護事業担当
アシスタント

4年前に退職し、今度アシスタントとして復帰しました。また利用者様と一緒に過ごすことが出来て嬉しく思います。初心に帰り、支援に携わりたいと思っています。よろしくお願いします。（4月1日入社）



おお 橋 えみこ

所属 コテージ・コテージ Jr.
児童担当

人と直接関わる仕事に興味があり中でも障がいを持たれている方の生活支援者として働きたいと望んでいました。日々覚えることに追われていますが、皆様に寄り添えるような支援を目指し頑張ります。（4月1日入社）



もう とも 友 充 世

所属 我楽
モンステラ カフェ担当
アシスタント

4月オープンナチュラルカフェモンステラで勤務しています。皆様と明るく楽しくお仕事ができるように私自身笑顔で日々の仕事に励んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。（3月1日入社）



もり た ひこ

所属 今人
担当 そ～じや
アシスタント

主に「そ～じや」活動の支援を担当しています。専業主婦が長かったので働くことをとても新鮮に感じています。利用者様と共に日々勉強しながら頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。（3月1日入社）

初心を忘れずがんばります

どうぞよろしくお願ひいたします



日本財団助成事業完了のお知らせ



このたび日本財団から平成24年度助成金の交付を受け、下記の事業を完了いたしました。ここに完了のご報告を申し上げますと共に、日本財団をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

記

- 一. 事業名 バン（軽自動車）の整備
- 一. 事業内容 スズキ エブリィ
- 一. 事業費総額 731,000円
- 一. 助成金額 580,000円
- 一. 施設名称 ワークサポートセンター今人
- 一. 施設所在場所 奈良県香芝市今泉451番地
- 一. 完了年月日 平成25年2月21日

- 一. 事業名 バン（軽自動車）の整備
- 一. 事業内容 スズキ エブリィ
- 一. 事業費総額 731,000円
- 一. 助成金額 580,000円
- 一. 施設名称 そ〜る123
- 一. 施設所在場所 奈良県香芝市磯壁1-1057-3
- 一. 完了年月日 平成25年2月21日

24時間テレビ助成事業完了のお知らせ

- 一. 事業名 スズキ エブリィ車椅子移動車の整備
- 一. 施設名称 障がい者支援施設 ゆらくの里
- 一. 施設所在場所 奈良県香芝市尼寺616番地
- 一. 完了年月日 平成25年1月25日



《賛助会員ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただきます、ご利用者のために使用させていただきます。

《ゆらくの里》

増尾明広、堀井信裕、平尾英治、三島茂子、森田信行

《地域事業》

平田義美

《業者ほか》

老松園、阪本石油(株)、上村元成、イヌイ建装、吉川自動車

(順不同、敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

新年度が始まりました。『新』という文字を見ると希望と期待と少しの不安の混じりあった気持ちにさせられることがあります。その気持ちこそが『初心』なのかもしれません。初心を忘れず、経験で得た知識も生かして利用者様を支援していきたいと思えます。

発行： 社会福祉法人 以和貴会
住所： 〒639-0261
奈良県香芝市尼寺616番地
編集責任者： 理事長 下村 卓司
Mail： office@yuraku.or.jp
発行： 平成25年4月